

水と火の祭典

2010 つるねまつり

8月14日(土)～16日(月)までの3日間、「水と火の祭典 2010 つるねまつり」が開催されました。今年のまつりは近年まれにみる猛暑の中での開催となりましたが、暑さに負けない町民の皆さんからの協力により盛大に開催することができました。

今月号では、往々夏を惜しみつつ、皆さんが熱く燃えた「2010 つるねまつり」の模様をご紹介します。

8月16日(月) 神火のりレー

御神火むらめぐり～松明行進

町の子どもたちによる「御神火むらめぐり」が行われました。各神社からいただいた御神火を子どもたちがりレーで鶴田八幡宮まで運び、鶴田八幡宮では火おこし神事が行われ、その後、子どもたちによる津軽富士見湖(間山地区)に待つ巫女船までの御神火りレーが行われました。また花火大会前の鶴の舞橋では、参加者200人による松明行進が行われました。



御神火りレー



木筒地区を走る児童



各地区神社からの御神火は鶴田八幡宮へ



鶴田八幡宮では巫女が待ち御神火を受ける



大性地区の参加児童たち



御神火むらめぐり参加者による松明行進



水上花火



花火を見上げる龍



特大花火と龍神船



龍神船



8月16日(月) 湖上、美の共演 花火大会

津軽富士見湖で行われた花火大会には約7万6千人の人出でにぎわい、観客たちは湖面に光輝く黄金の龍神船（龍ねぶた）や水上花火、上空の花火から映し出される鶴の舞橋などといった鶴田ならではの湖水花火に大きな歓声を上げていました。





水と火の祭典 2010 つるたままつり

祝！東北新幹線全線開通
鶴田町役場



宝くじは
豊かさ築く
チカラ持ち。

宝くじは、広く社会に普及されています。

「鶴の架け橋交流」で11月鹿児島県さつま町に贈られる青森ねぶた「天草四郎」・制作者は数々の青森ねぶたを手掛けるねぶた師 内山龍星 氏



ねぶた運行の先陣を切る 「白上姫龍神太鼓」

つるたままつりねぶた運行で山車の先頭には、太鼓面が直径3メートル、長さ5メートル、重さ2トンの桶胴型大型太鼓が登場します。

太鼓の叩き手は、両面合わせて8人、引き手は綱持ちを合わせて30人にも及び勇壮な太鼓です。

また、つるたままつりのフィナーレを飾る花火大会には、この太鼓が会場に運ばれ、ねぶたばやしが行われています。

まつりを盛り上げるたたき手と吹き手たち

8月14日(土)・15日(日) 町の通りに山車が舞う ねぶた合同運行

まつりの初日と2日目に行われた「ねぶた合同運行」では、延べ6千人の観客で沿道が埋まり、ねぶた6団体、仮装2団体が参加して、子どもたちの元気な掛け声とともにねぶた、はやし、仮装、踊りが次々に披露されました。

また、今年の運行には鹿児島県さつま町の皆さんとフッドリバー訪問団の皆さんが参加してくださりまつりを盛り上げてくれました。

たたき手の半数は女性です

上から打下るすたたき手には根性が必要





菖蒲川小学校



鶴田町子ども会育成連絡協議会とジュニアリーダー

青森銀行「青友会」による仮装行列



富士見小学校獅子舞（上）とPTAの皆さん（下）



鶴田町役場流し踊り



鶴田町登山囃子保存会



鶴田高等学校・女子生徒によるよさこいソーラン



鶴田小学校PTA



胡桃館小学校PTA



今年度町長賞に輝いた鶴田高等学校



仲町ねぶた有志の皆さん



ゆかいな化人たち

グループホーム「鶴泊の家」仮装行列



水と火の祭典

2010つるたまつり



8月14日(土)

龍巻寿司

本町通りに800人の観客が訪れ全長216mの大巻き作りに挑戦。参加者全員息を合わせ、ご覧のとおり今年も見事に龍巻寿司が完成しました。



・写真上／タレントの伊奈かっぺいさんが飛び入りで巻き手にチャレンジ！楽しそうでした
・写真左／見よう見まねで挑戦する子どもたち
・写真右／危ない箇所もみんなでカバー、ご覧のとおり大成功

8月15日(日)

鶴凧揚げ大会 鶴寿公園まつり

まつり2日目の午後からは、岩木川河川敷で「鶴凧揚げ大会」が行われ、鶴凧の会の方々が凧揚げに興じました。

今年の大会には、同じ鶴の里である鹿児島県さつま町の皆さんとフツドリバー訪問団の皆さんが参加して大会を盛り上げてくださいました。

また、夕方からは「鶴寿八公園まつり」が行われ、バンド演奏、カラオケ大会、日本舞踊、丹頂太鼓、長峰健一一行三味線ライブ、歌謡ショーなど、訪れた700人の観客がさまざまなアトラクションでまつりの夜を楽しんでいました。

開会式にはさつま町の皆さんも参加



華かほり歌謡ショーで鶴寿公園まつりは最高潮に



丹頂太鼓 迫力ある演奏に聞き入る観衆



手踊り、民謡、三味線、それぞれの名人が共演



8月14日(土) よさこいソーラン 第7回大声大会

まつりの初日、駅前丹頂大通りでは、綱引グランドチャンピオン決勝戦、獅子舞、風船ショー、第1回大声大会、花嵐桜組や各チームによるよさこいソーランなどでにぎわいました。

今年第1回となる大声大会には、ちびっ子から大人まで30人が挑戦し、上位2人による決勝戦で「つるた大好き」と叫んだ鶴田小学校1年秋庭恵仁くんが見事優勝に輝きました。



毎年観衆を魅了する花嵐桜組(弘前)のよさこいソーラン



優勝賞品を手にする秋庭君



決勝戦で「つるた大好き」と叫び優勝を決めた瞬間



大人に負けず高得点を出す子どもたち



- ・写真右/贈られる青森ねぶた「天草四郎」前で記念撮影
- ・左写真上/さつま町から友好交流記念に宙吹クリスタルの鶴が贈呈される
- ・8/14つるたまつり大会本部前で行われた「ねぶた贈呈式」

鹿児島さつま町一行来町 ねぶた贈呈式が行われる

8月14日(土)、鹿児島県さつま町日高町長率いる一行が来町し、当町からさつま町に青森ねぶたを贈る「鶴の架け橋交流・青森ねぶた贈呈式」が行われました。

贈呈式は、つるたまつり大会本部前で行われ、中野町長から日高町長へ青森ねぶた、ハネト衣装、太鼓バチ、笛、手振り鉦等一式の目録が贈られ、両町長が堅い握手を交わし、これからも両町が交流を続けることを約束しました。

鹿児島県さつま町との交流は、平成9年に旧鶴田町と姉妹盟約を結んだのを契機に、鶴凧、五ツ太鼓、子ども会などの文化交流や特産品を両町で販売するなどの経済交流が現在まで続いており、今年さつま町が合併5周年を迎え、記念事業を開催するにあたり、当町から青森ねぶたを贈呈する運びになりました。

贈呈した青森ねぶたは、11月に陸路で鹿児島県さつま町に輸送され、11月14日に開催される「さつま町5周年記念事業」と同時に開催されるイベントの中で、さつま町内を運行される予定です。

